

=====

自立前提セッション&講座設計テンプレート

Day3(配布日:2024/12/15)

=====

お名前: _____

作成日: _____年 _____月 _____日

■このシートの目的

- ・1回のセッションと、講座全体の構造を「自立前提」に組み替える
- ・その場しのぎではなく、「卒業」を前提にした設計へ

PART1 1回のセッション構成(60~90分のテンプレ)

【セッション名】

【想定時間】 分

1)オープニング(10~15分)

-
- ・今日のテーマとゴールと一緒に確認する時間

今日クライアントに聞きたい質問:

-
-

終わりにどうなつていいか確認する問い合わせ:

-

2)現状と感情の整理(15~20 分)

・事実／感情／思考を切り分けて、今の位置を一緒に見る

整理のために使う質問:

-
-

3)気づきと選択肢の提示(20~30 分)

・リーディングやスピーチ的な視点を「答え」ではなく「視点」として使う

クライアントに気づいてもらいたいポイント:

-

リーディング情報を伝えるときの言い方(例):

・「ひとつの視点として、こんなメッセージも感じます」

・

4) クライアント自身の選択(10~15 分)

・次の一步をクライアントに選んでもらう時間

選択を返すための問い合わせ:

・

・

5)宿題・実践ワークの設定(10~15 分)

・次回までに試してほしい小さな行動／意識の宿題

宿題の例:

・

・

PART2 自立前提の講座／スクール設計(3ヶ月モデル)

【講座名】

【期間・回数】

例) 3ヶ月／全6回・グループ講座+個別セッション2回 など

→

【この講座で目指す「自立ゴール」】

→

▼各回のテーマとゴール

第1回 テーマ：

ゴール(何ができるようになる？)：

第2回 テーマ：

ゴール：

第3回 テーマ：

ゴール：

第4回 テーマ：

ゴール：

第5回 テーマ：

ゴール：

第6回 テーマ：

ゴール(卒業時点での状態)：

PART3 サポート範囲・境界線の設計(概要)

1) 講座料金に含まれるサポート

・連絡手段：

・返信目安(時間帯／何時間以内)：

・メッセージの目安回数(例:1日1往復まで など)：

2)講座料金には含まれず、別料金にするもの

3)「ここから先は別メニューです」と切り替える基準

4)卒業後の関わり方(フォロー・単発セッションなど)

メモ欄(改善アイデア・気づいたこと)
